

第 86 回 フリートークの会 2013 年 5 月 14 日 出席者 9 名

A さん 私は、手術して 4 年半になります。5 年前の今頃検査して異常が見つかって…。でも今はいたって元気です。体重が気になっています（笑）それくらいです。

B さん 手術したのが今年の 2 月なので 2 ヶ月ちょっとになります。はじめのうち腕がつるようなつっぱるような感じがあったんですけど、リハビリに通ってしまして、リンパの調子がよくなってきました。

C さん 1990 年に右側、2000 年に左側を手術しました。2010 年に卵巣に転移しまして全摘手術をしました。術後すぐはなんだかおなかが痛くて痛くて、腸閉塞の心配とかもあったんですけど、術後半年で痛みがなくなり落ち着いてきました。

先生、ちょっと質問なんですけど、量子線治療っていうのは適応はどんなものなのでしょうか。

院長 量子線治療の適応は、乳がんに関しては組織の深いところの治療は難しいんですよ。体の奥の方に患部がある場合は、そこに当てようとするとその手前の悪くないところにも当たっちゃうから、悪くないところもダメージを受けてしまう。量子線というのは放射線よりもっと効率がよく強力なものなんです。だから表面的な部分の患部に使うにはいいんです。奥の方に患部がある場合は、重なっている部分もやられてしまうので、開腹手術をして、当てたくないところには遮蔽板を入れて防いでやるんですが、一か所だけですね、当てられるのは。あちこち腫瘍が散らばっている場合はできないんですね。

D さん 発病して 8 年になります。わかったときすでに骨転移もしていました。ゾメタを使っていたんですが、効きにくくなってきてマーカーも上がってきたので、ハーセプチンとジェムザールを使い始めたんですが、ハーセプチンはいいんですが、ジェムザールで副作用が出て大変だったので、ジェムザールは止めて他の抗がん剤を使いたいんですが主治医の先生とのコミュニケーションがうまく取れない感じなんです。もう使える抗がん剤がないって言われたんです。セカンドオピニオンを受けたいんですが、それを言ったら関係が悪くなりそうで言えないんです。

E さん 言わない方がいいよ。生意気だって思われるから。

D さん そうですよ。でもほんとにどうしたらいいかわからなくて、ちょっと鬱状態になっちゃって、体重も 3kg くらい減っちゃったんです。

菊池先生、もう使える抗がん剤って私の場合ないのでしょうか。検査データとか治療歴とかわからないとセカンドオピニオン受けられないですよ。

院長 使える抗がん剤がないってことはないと思いますよ。いくらでもきつとあるでしょう。でも何も情報がなければ何とも言えませんね。でもうちに来ている患者さんの中には、検査の結果や毎回の治療の内容をきちんと専用の手帳を作って控えている方もいらっしゃいますよ。そう

いうものがあれば、カルテがなくてもかなり具体的にわかっていいですよ。

Dさん 私、控えています。毎回きちんと書いてあります。

Eさん じゃそれ見てもらったら。いいじゃない。

Fさん 去年3月子宮体がんとう巣がんの手術をしました。腫瘍マーカーが基準値より上がったので、大腸がんの検査をしました。かなり痛かったです。

Gさん 今年で9年目で、今年の11月で10年目に入ります。鎖骨のところに再発したんですが、早期発見だったので、放射線治療で完治しました。佐藤先生の病院で20回くらいやって、もう5年になります。今はホルモン剤を飲んでます。もう飲まなくてもいいんじゃないかと言われてます。

Eさん 先月、内科でレントゲン検査を受けましたら影が出ていると言われました。PET検査を受けて、来月検査結果が出ます。

Hさん 去年春に右の乳房を切除しました。先日患者さんの会に参加させていただき、Eさんのお話を聞いてすごく勇気が湧きました。元気をいただきました。ありがとうございました。

Iさん 9年目になります。最近尿検査で血尿が出て引っかけ、婦人科に行ったんです。子宮頸がんが心配なんですけど、年も年だし(60歳代)関係ないかな〜と思っているんですが。

院長 う〜ん、そうですね〜。血尿は膣からの出血が混じっている可能性があります。子宮頸がん検診は、受けていない場合は受けた方がいいですね。

Aさん 私の娘は子宮頸がんのワクチンを受けました。でも予防ワクチンをして検診は受けた方がいいんですよね？先生。

院長 そうですね。子宮頸がんは、異形成といって前がん状態で見つかることが多いんです。検診はこの状態で発見することが目的なんです。HPV(ヒューマンパピローマウイルス)の検査をして、陰性だったらワクチン接種を、陽性だったら精密検査を受ける。

Iさん でも、ワクチンは2種類あるんですよね。どっちがいいんですか？

院長 サーバリックスとガーダシルというのがありますね。サーバリックスは16,18型、ガーダシルは16,18型に加えて9,11型に対するワクチンです。抗体価が高くなるのはサーバリックスの方ですかね。
性活動が活発になる10歳代後半から20歳代に接種するのが望ましく、合わせて検診を受ける

のを忘れないでほしいですね。先程お配りした資料にもあるように、20 歳代の検診の受診率は 7%ほどなんですね。これは非常に低い数値です。諸外国の中でも非常に低い。これはやはり学校教育の中で教えていく必要があると思いますね。若い時に子宮頸がんになってしまったら、妊娠出産が難しくなる。一生の問題ですからね。